

(様式第6号 別紙)

長崎県福祉サービス第三評価結果報告

①第三者評価機関名

有限会社 医療福祉評価センター

②事業者情報

名称：わーくやまびこ	種別：生活介護
代表者氏名：田島 光浩	定員（利用人数）： 20名
所在地： 諫早市小野町 365-1	TEL：0957-56-8540

*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

③施設・事業所の特徴的な取組

・『えらべるって楽しい』『えらべるって大事』『えらべるからココにいる』ということばを事業所のパンフレットに掲載している。サービスをえらぶことで、いろいろなことをあきらめてきた利用者が毎日を楽しく、自分が大切にされていることを自覚し、権利意識が高まることを目指している。

・ポニーを2頭飼育しており、療育乗馬のプログラムが人気である。管理者みずから乗馬インストラクターの資格を取得し、利用者外への体験乗馬など積極的に地域と関わりを深めている。

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 28年 9 月 8 日（契約日） ～ 平成 29年 1月 25 日（評価結果確定日）
受審回数	0 回

⑤総評

◇特に評価の高い点

【コミュニケーションを円滑にするための取り組み】

・生活介護のプログラムを毎日選択できる仕組みであり、写真やイラストを見てその日に何をおこないたいかを聞き取っている。また、トイレにいきたいのか、おなかがすいたのかなど、利用者のいまの気持ちをくみとれるようカードを準備するなど、利用者の気持ちを理解できるよう日々取り組んでいる。

【療育乗馬のプログラムと地域とのつながり】

・近隣の公園でポニーを2頭飼育しており、療育乗馬をおこなっている。週末は療育乗馬の体験や一般の利用者の乗馬体験にもかかわっており地域とのつながりが密接である。

◇改善を求められる点

【選べるプログラムの拡充】

・日常の生活介護プログラムが充実しており、利用者がその日のサービスをえらび、楽しく、生きがいある暮らしができるよう支援している。昼食は午前と午後のサービスをつなぐ楽しみのひとつである。昼食もメニューや主食などが選べるようになると利用者の満足度も高まると思われる。

【利用者の主体的な活動の支援】

・生活介護のプログラムを選べる仕組みにしており、利用者が毎日を楽しく、自分が大切にされていることを自覚し、権利意識が高まることを目指している。

たとえば、利用者の会を発足し生活介護のプログラムや施設内でのルールをきめることなどを経験することによって、さらに主体的な考えや権利意識が高まると思われる。

⑥第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めて受審させて頂きましたが、サービスの中身や在り方を客観的に自己チェックする機会になりました。本質的意味において、更に磨きをかけていく視点や目標、指針の整理になり有意義な機会でした。また、その歩むべき方向についてご助言も引き続き頂ける事は過去の評価にとどまらず、これからを創造していく上で大変有難いことと感謝しております。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)